

中国圏広域地方計画の進捗状況について

進捗状況の把握については、計画の着実な実効性を高めるため、毎年度、中国圏に関する様々な情報を収集し、各プロジェクトの進捗状況を検証するとともに、計画の推進に向けた課題抽出やその対応等について、検討、実施し、プロジェクトを始めとした計画の一層の推進を図る。

計画概要

3つの将来像

- ・地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏
- ・産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏
- ・多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏

15のプロジェクト

中国圏の将来像の実現に向けて、関係主体の広域的な連携・協力と適切な役割分担の下、概ね10年間に重点的に取り組むべき具体的な施策を15のプロジェクトとして取りまとめた。

- ものづくり産業の再構築・高度化による競争力強化プロジェクト
- 中国圏の低利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりプロジェクト
- 瀬戸内海の保全・活用プロジェクト
- 臨海部産業支援のための国際物流機能強化プロジェクト
- 中国圏の歴史・文化発信とまるごと観光推進プロジェクト
- 東アジアから世界への交流推進プロジェクト
- 日本海沿岸における北東アジアゲートウェイプロジェクト
- 中国圏の分散型地域構造の核となる都市整備プロジェクト
- 基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト
- 東アジアから世界への交流推進プロジェクト
- 分散型地域構造の核となる都市整備プロジェクト
- 里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクト
- 中国圏のサービス産業育成プロジェクト
- 地場産業を創出する地域資源活用プロジェクト
- 美しく強靱な圏域づくりプロジェクト
- 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト
- 中国の人づくりプロジェクト

新たな課題

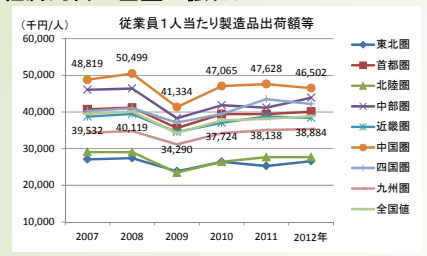
- 災害時における交通機能の確保と連携
- 津波等に備えた防災地域づくり
- 産業を持続するための企業間連携の強化と物流機能の確保
- 復旧・復興に向けた企業等の力の活用

主な進捗状況指標

＜ものづくり産業を中心とした圏域の経済的自立基盤の強化＞

【従業員1人当たり製造品出荷額等】

中国圏の従業員1人当たり製造品出荷額等は、2012年度は約4,650万円である。中国圏は全国値と比較して約760万円上回っており、全圏域の中で最も高い。2007年度と比較して約230万円減少している。世界不況の影響により2009年度に大きく減少したが、2010年度に回復を見せ、その後はほぼ横ばい傾向である。

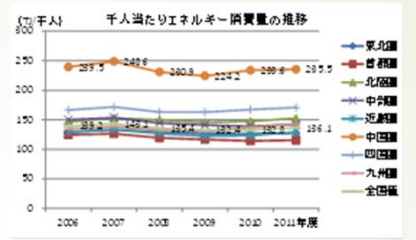


資料：工業統計調査、経済産業省人口推計、総務省

＜環境と産業・生活が調和した地域づくり＞

【千人当たりエネルギー消費量の推移】

中国圏の千人当たりエネルギー消費量は、2011年度は235.5TJであり、1人あたり温室効果ガス算定排出量と同様に全国値を大きく上回り、全圏域で最も多い状況である。2006年度と比較して、減少傾向だったが、2010年度以降増加に転じた。

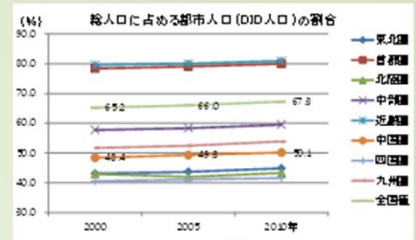


資料：都道府県エネルギー消費統計調査、資源エネルギー庁人口推計、総務省

＜分散型地域構造の核となる都市機能の強化＞

【総人口に占める都市人口(DID人口)の割合】

中国圏の総人口に占める都市人口(DID人口)の割合は、2010年度は50.1%であり、全国値を約17ポイント下回っている。2000年度と比較して約1.7ポイント増加しており、近年は増加傾向である。

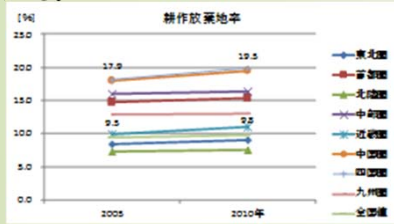


資料：国勢調査、総務省人口推計、総務省

＜中山間地域等の振興＞

【耕作放棄地率】

中国圏の耕作放棄地率は、2010年は19.5%で、全国値を約10ポイント上回り、四国圏に次いで高い割合となっている。中国圏は2005年と比較して1.6ポイント増加している。



資料：「農林業センサス：農林水産省」より国土交通省国土政策局にて算出

＜世界や他圏域と交流し貢献する、開かれた圏域づくり＞

【1人当たり外国人観光宿泊者数】

中国圏の1人当たり外国人観光宿泊者数は、2012年度は0.019人であり、全国値を0.116人下回り、四国圏、東北圏と並んで低い状況である。中国圏は近年微増傾向で推移している。

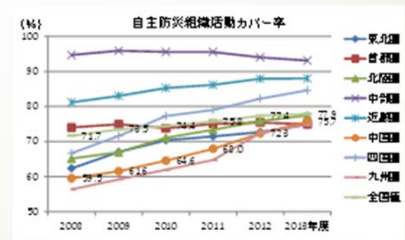


資料：宿泊旅行統計調査、国土交通省観光庁人口推計、総務省

＜美しく安全安心な圏域づくり＞

【自主防災組織活動カバー率】

中国圏の自主防災組織活動カバー率は、2013年度には75.7%で、全国値を2.2ポイント下回っている。2008年度と比較して16.2ポイント上昇しており、近年は増加傾向である。

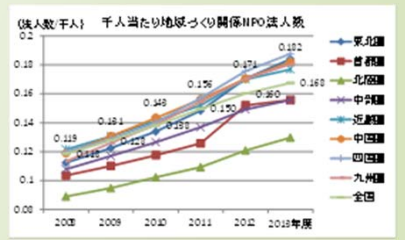


資料：消防白書、総務省人口推計、総務省

＜将来の発展を担う人づくり＞

【千人当たり地域づくり関係NPO法人数】

中国圏の千人当たり地域づくり関係NPO法人数は、0.182法人/千人と四国圏、東北圏に次いで高く、地域を支える人材育成の面で「まちづくりの推進を図る活動」を含み、NPO法人の認証数は着実に増加している。



資料：内閣府NPOホームページ人口推計、総務省

中国圏広域地方計画の進捗状況について

進捗した主なプロジェクト [中国圏の将来像の実現に向けて、各プロジェクトに基づき実施した事例]

○ 臨海部産業支援のための国際物流機能強化プロジェクト

岡山県では、西日本地域の輸入拠点として、国民生活に必要な不可欠な穀物の安価かつ安定的な供給を図るため、国土交通省との連携のもと、世界的な輸送船舶の大型化に対応した国際バルク戦略港湾を2011年度より整備しており、2013年度は、ポストパナマックス船対応に向けた調査検討を実施した。



○ 瀬戸内海の保全・活用プロジェクト

岡山県では、備前市の日生海域などにおいてアマモ(海草)の生育環境を創出するための浅場造成とそこでのアマモの種子供給に長年取り組んでおり、一時は12haまで減少した日生海域のアマモ場は、造成した工区を中心に現在200ha以上に回復している。



○ 基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト

広域的な幹線道路ネットワークの整備を推進するため、中国横断自動車道姫路鳥取線の整備を推進し、2013年3月に全線開通した。また、中国横断自動車道尾道松江線の整備により、2014年3月に吉舎IC～三次東JCT・IC(延長10.3km)が開通した。



○ 中国圏の歴史・文化発信とまるごと観光推進プロジェクト

60年ぶりの出雲大社大遷宮(2013年)にあわせ、島根県・出雲市により出雲大社前の神門通りにおいて、歩行者が快適に回遊できるように、街道の松並木を活かしながら歩道の拡幅や道路の美化を実施した。



○ 里地・里山・里海における農林水産業再生プロジェクト

中国四国農政局では、2011年度の六次産業化・地産地消法の施行に基づき、農林水産物の生産・加工・流通(販売)の一体化による付加価値の向上と1次産業と2次・3次産業の融合による地域ビジネスの展開及び新たな産業の創出を推進している。



○ 分散型地域構造の核となる都市整備プロジェクト

広島駅新幹線口の北側に隣接する二葉の里は、2003年に都市再生緊急整備地域に指定され、2013年度に独立行政法人都市再生機構による土地区画整理事業(約13.8ha)の基盤整備工事が完了した。



○ 中山間地域・島しょ部における多面的機能の保全・活用と暮らし安心プロジェクト

ドクターヘリの導入による地域医療の充実、災害・事故現場での救命率向上を目的として、中国5県において各県が運用するドクターヘリの広域的連携を図るため、2013年1月中国地方5県及び4基地病院による「中国地方5県ドクターヘリ広域連携に係る基本協定」を締結した。



○ 美しく強靱な圏域づくりプロジェクト

2009年7月の中国・九州北部豪雨により、山口県防府市で発生した甚大な土砂災害に対して、中国地方整備局では応急対策として5溪流を対象に直轄災害関連緊急事業に着手し、約1年間で各溪流に砂防堰堤を設置した。そのうち3溪流については更なる災害対策の必要性から引き続き直轄特定緊急砂防事業として各種砂防施設を実施し、2014年3月に完了した。



○ 中国圏の低利用資源を活用した低炭素・循環型地域づくりプロジェクト

山口県では、コンビナート生成の水素を活かした「水素先進県」の実現を目指し、液化水素ステーションの誘致、水素利活用による産業振興、水素利活用による地域づくりに係る取組を進めている。また、周南市では、水素ステーションを核としたまちづくりに向けた検討を開始した。



○ 中国圏の人づくりプロジェクト

コンビナートの製造現場における、高度運転・安全能力、緊急時対応能力、リスクマネジメント等を図るための人材育成事業として、2005年度に経済産業省としてスタート。(公財)岡山県産業振興財団が岡山大学、山口大学、コンビナート企業の協力を得て実践的なカリキュラム・教材の開発を行い、2007年度から(公社)山陽技術振興会が山陽人材育成講座を開設した。

